

11月13日：記憶を受け継ぐ日

11月13日（木）、フランスでは2015年11月13日の同時テロから10年を迎え、全国で追悼式が行われました。これは近年で最も犠牲者の多い事件で、パリ、サン=ドニ、ニース、リールなど各地で式典が開かれました。どこも深い感情に包まれています。

サン=ドニのスタッド ド フランス前では、公式の式典が行われ、大統領が最初の爆発で亡くなったマニュエル ディアスさんの追悼プレートに献花しました。娘のソフィーさんは、10年経っても苦しみは消えず、家族は今でも理解できない気持ちであると語りました。

パリ10区のテラス席が狙われた場所では、犠牲者の名前が読み上げられています。数日前から多くの人が花やメッセージを置き、ロウソクを灯して追悼しています。当時10歳だった青年は、この出来事を通して連帯、自由、友愛という価値を学んだと話し、今日は必ず来て感謝と追悼の気持ちを伝えたかったと述べました。

共和国広場では、一人の女性が、社会が寛容さや反ヘイトの価値を守り続けることが重要だと語りました。これらの光景は、2015年当時の国民の団結を思い出させます。

ニースでも犠牲者の名前が読み上げられ、リールでは友人を守って亡くなった英雄リュドヴィック ブンバスさんの式典が開かれました。家族は彼の勇気を語り、今でも深い悲しみを抱えています。

午後6時にはパリで「11月13日記念庭園」が開園し、ノートルダム大聖堂の鐘が犠牲者のために鳴らされます。

中国からの荷物: Shein スキャンダル後、税関が検査を強化

衣料品サイト「Shein」の不祥事をきっかけに、フランス税関は中国から届く荷物の検査を大幅に強化しました。フランスには非常に多くの中国製の荷物が届きますが、その中には危険な商品や偽物がよく見つかっています。

ロワシー空港に続き、ボルドー＝メリニヤック空港でも大規模な検査が行われています。税関職員や消費者保護機関の担当者がカッターで荷物を一つ一つ開けて調べます。ある荷物の中からは、規則を守っていない衣類が見つかりました。

担当者によると、布の素材が表示されていないため「不適合商品」と判断されます。もしフランスやEUで販売されている場合、当局は販売責任者を特定し、対応を行うとのことです。

また、健康に害を与える危険な化粧品も発見されています。税関地域局長ステファン・マージュ氏によると、検査した商品の約20%が基準を満たしていないそうです。これは非常に高い割合です。

フランス各地では検査がさらに増えています。マルヌ県のヴァトリー空港でも同様です。中国の通販サイトから届く商品の多くが問題視されており、特に偽物が多く見つかります。例としては、有名ブランドをまねたスニーカーや違法コピーのトレーディングカードなどがあります。

クリスマス前でオンラインショッピングが最も忙しくなる時期のため、荷物の量は急増しています。そのため、税関は消費者を守るために、危険な商品や違法品が市場に出回らないよう警戒を強めています。

Questionnaire

1. なぜ 11 月 13 日はフランスにとって重要な日なのですか？
 2. 大統領はマニュエル ディアスさんを追悼するためにどこへ行きましたか？
 3. 人々はテロ現場に何を置いていますか？
 4. あの青年は、この出来事からどんな価値を学んだと言っていますか？
 5. パリでは 18 時に何が開園（*inauguré*）されますか？
-
-
-
-
-
1. なぜフランス税関は中国からの荷物の検査を強化したのですか？
 2. 税関職員は荷物の中からどのような「不適合商品」を見つけましたか？
 3. 基準を満たしていない商品は、およそ何%あると言われていますか？
 4. 記事にはどのような偽物があると書かれていますか？
 5. クリスマス前に検査がさらに増えるのはなぜですか？